

平成26年度

主要施策成果説明書
総合計画実施状況報告書

山 梨 県

地方自治法第 233 条第 5 項及び山梨県行政の
全般に係る総合的な計画の議決等に関する条例
第 4 条の規定に基づき、平成 26 年度の決算に
係る主要な施策の成果及び第二期チャレンジ
山梨行動計画の実施状況の概要に関する報告書
を次のとおり提出します。

平成 27 年 9 月

山梨県知事 後 藤 齋

平成26年度 主要施策成果説明書 目次

総合計画実施状況報告書

1 「元気産業創出」チャレンジ

1	成長分野への参入と新産業の集積	1
2	成長分野を支えるプラットフォームの充実	7
3	やまなしブランドの確立	11
4	地域経済の活性化と雇用の安定	15
5	未来の農業を担う担い手の確保と高収益農業の実現	19
6	中心市街地の活性化と商業の振興	27

2 「環境先進地域」チャレンジ

1	自然力を活かしたクリーンエネルギーの導入促進	29
2	地球にやさしい省エネライフの推進と循環型社会の形成	33
3	活力ある林業の振興と豊かな森林の保全	37
4	自然と調和した美しい農山村づくりの推進	41
5	快適で美しい環境の保全	45

3 「ウェルカム、おもてなし」チャレンジ

1	地域のおもてなしの向上と地域資源を活かした観光の振興	51
2	やまなしの魅力発信と多様な交流の推進	55

4 「交いの国」チャレンジ

1	地域をむすぶ幹線道路網の整備	61
2	公共交通の利便性向上の促進	65
3	交流を支える都市基盤整備の推進	69

5 「生涯あんしん地域」チャレンジ

1	安心して暮らせる地域福祉の推進	73
2	県民の豊かな生活を守る保健医療の充実	79
3	あたたかく多様な子育て支援	87
4	大規模地震・富士山火山防災体制の強化	93
5	災害に強い県土づくりの推進	97
6	誰もが快適で安全に暮らせる社会づくりの推進	101

6 「未来を拓く人づくり」チャレンジ

1	豊かな個性を伸ばす教育環境づくり	107
2	生涯を通じて学ぶ環境づくり	113
3	芸術・文化・スポーツの振興	117

7 「改革続行」チャレンジ

1	持続可能な財政の運営	123
2	効果的・効率的な行政運営	129
3	県民サービスの向上	133
4	地域の自主性・自立性を高める改革の推進	137

注) 1. 予算科目 …… 一般会計及び特別会計については、歳出予算科目の(目)を記載し、公営企業会計については、事業会計名を記載している。

2. 事業費 …… 県、国、市町村及び民間等の支出額の総計を記載している。

1 「元気産業創出」チャレンジ

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	1	「元気産業創出」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	1	成長分野への参入と新産業の集積	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 本県産業の活性化を図るため、「産業振興ビジョン」に基づき、中小企業の経営革新に向けた取り組みを支援することにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図ります。 また、燃料電池の実用化は、新たな産業の創出につながると期待されることから、産学官の連携による事業化の推進など燃料電池関連産業の育成・集積に取り組めます。</p>					
平成 26 年度 の 主 な 取 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 経営革新への支援		P. 2	産業労働部	
	○ 経営基盤・資源の確保への支援		P. 2	産業労働部	
	○ 新技術・新製品開発への支援		P. 2	産業労働部	
	○ ものづくり産業の成長分野進出の促進		P. 3	産業労働部	
	○ 中小企業サポート体制の充実		P. 3	産業労働部	
	○ 超電導等による電力貯蔵技術実用化の推進		P. 4	企業局	
	○ 燃料電池関連産業の育成、集積		P. 5	産業労働部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		2,040 百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		2,343 百万円		
	前年度までの事業費		1,538 百万円		
	本年度の事業費		805 百万円		
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	成長分野進出に取り組む中小企業への支援件数（行動計画期間中の累計）	—	28 件 (H26)	22 件 (H26)	78.6
	企業誘致数（行動計画期間中の累計）	—	50 件 (H26)	52 件 (H26)	104.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 経営革新への 支援 【成長産業創造課】	商工総務費 (15,240) 13,772	<p>中小企業の経営革新計画の策定支援を行うとともに、中小企業が抱える新商品開発、販路開拓等の経営革新の諸課題に対し、商工団体や金融機関等が連携、協働して支援を行う体制を整備し、個々の企業に適した支援方針を決定した上で、専門家チームの派遣など、きめ細かな支援を行った。</p> <p>これにより、中小企業の経営革新への取り組みに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営革新計画承認件数 11 件 ・中小企業経営革新サポート事業支援件数 30 件 ・プロジェクトマネジャーの派遣による支援
2 経営基盤・資源の確保への 支援 【産業集積課】	商工総務費 (95,595) 90,053	<p>創業、経営革新、人材育成、販路開拓等、中小企業の成長段階に応じた取り組みを促進するため、やまなし産業支援機構が担う総合的な支援基盤機能の強化を推進した。</p> <p>これにより、中小企業の経営基盤の強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談体制の整備・充実 相談件数 3,560 件 ・下請取引のあっせん 499 件 ・専門家の派遣 70 社
3 新技術・新製品開発への 支援 【成長産業創造課】	商工総務費 (65,914) 61,425	<p>今後成長が期待される産業分野への進出を促進し、地域の経済成長の原動力とするため、中小企業の新技術・新製品の研究開発を支援した。</p> <p>これにより、県内企業の技術力の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長分野の核となる中小企業の研究、技術開発への支援 4 件

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 中央自動車道 沿線広域産業 連携の推進 【産業集積課】	商工総務費 (3,317) 3,301	<p>中央道沿線の多摩、諏訪の各地域には、特色のある企業が立地していることから、これらの地域との連携の強化に取り組み、本県中小企業の取引先の拡大、新技術・新製品の開発力の強化、技術力の向上を図った。</p> <p>これにより、多摩地域企業とのビジネスマッチングが41件行われるなど、広域産業連携を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスターマネージャーの企業訪問 延べ52社 ・産業展示会出展への支援 「ビジネスフェア from TAMA」への出展 5社
5 ものづくり産 業の成長分野 進出の促進 【成長産業創造課】	商工総務費 (6,081) 6,011	<p>中小企業の製品開発・受注機会の拡大を図るため、意欲的な中小企業が取り組む、産業振興ビジョンが示す成長分野への進出を促進した。</p> <p>これにより、新技術、試作品に係る研究開発や、市場ニーズに基づく参入に向けた体制整備等が進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスクフォース（事業化グループ）の形成及び支援 対象分野：クリーンエネルギー関連産業、スマートデバイス関連産業、医療機器関連産業、燃料電池関連産業 グループ数 8タスクフォース ・自社最終製品を持つ企業を目指す県内中小企業の取り組み支援（経営塾） 支援企業数 6社
6 中小企業サ ポート体制の 充実 【成長産業創造課】	商工総務費 (1,454) 1,454	<p>中小企業が抱える新商品開発、販路開拓等の経営革新の諸課題を解決するため、商工団体、金融機関等が連携・協働してサポートする体制を整備し、個々の企業に適した支援方針を決定した。</p> <p>これにより、中小企業の経営革新に向けた取り組みが進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業サポート連携拠点会議の開催 12回 ・専門家チームとの調整会議 12回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 産学官連携による研究開発・事業化の推進 【産業集積課】	—————	<p>中小企業の技術力・製品開発力を強化し、新分野への進出機会をつくるため、県内企業が必要とする技術や研究と、県内外の大学等の保有するシーズとのマッチングを支援した。</p> <p>これにより、県内企業の新分野への進出機会をつくり、新技術に関する情報の収集や、事業パートナーの仲介・斡旋を充実させることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等の研究シーズとのマッチング 1件
8 企業誘致の推進による産業集積の促進 【産業集積課】	企業立地対策費 (161,071) 150,398 [10,000]	<p>活力ある産業の集積と雇用の拡大による本県経済の活性化を図るため、製造業を中心とした将来性のある優良な企業の誘致を推進した。また、積極的な企業訪問を通じ、企業支援を行うとともに、情報の収集に努めた。</p> <p>これにより、平成26年は12件の工場立地を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の企業訪問 延べ432社 ・産業集積促進助成金の運用 1件 ・やまなし企業立地コミッションの運営（ワンストップサービスの実施、支援制度等最新情報の提供）
9 超電導等による電力貯蔵技術実用化の推進 【企：電気課】	(電気事業会計) (535,698) 406,755 [128,943]	<p>再生可能エネルギー技術の普及と超電導関連産業の育成・集積を図るため、鉄道総合技術研究所及び民間企業3社と共同で、超電導を利用した電力貯蔵技術である「次世代フライホイール蓄電システムの開発」の研究において、実証試験用の蓄電システムの製作を行うなど研究フィールドの整備を行った。</p> <p>これにより、電力系統の安定化技術に関する研究の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力貯蔵技術研究推進 <ul style="list-style-type: none"> 実証試験用機器の製作 米倉山での実証試験施設の整備 ・実施試験用の大規模太陽光発電所の整備 <ul style="list-style-type: none"> 米倉山に1MWの太陽光発電所を建設

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
10 電気自動車用 充電インフラ の整備 【エネルギー政策課】	—————	<p>電気自動車利用者の利便性向上を図り、電気自動車の普及を促進するため、県施設に設置されている急速充電器を一般に開放するとともに、次世代自動車充電インフラ整備ビジョンを改定し、次世代自動車振興センターの助成事業を活用した民間施設等への充電器の導入を促進した。</p> <p>これにより、全県域への電気自動車用充電器の設置が進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の急速充電器設置 40 箇所 ・ 県施設の急速充電器の一般開放 2 箇所
11 燃料電池関連 産業の育成、 集積 【成長産業創造課】	企業立地対策費 (25,362) 22,756	<p>山梨大学の燃料電池技術の研究成果を活用した本県産業の活性化を図るため、産学官が連携し、燃料電池技術の実用化に向けた研究開発や燃料電池関連産業に進出しようとする県内企業の取り組み等を支援した。</p> <p>これにより、関連産業への参入に必要な新技術の開発、山梨大学と県内企業との共同研究が進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料電池実用化推進会議の開催 平成 26 年 7 月 ・ 燃料電池関連分野進出促進セミナー 3 回 ・ 国際水素・燃料電池展 (Fc-Expo) への出展 平成 27 年 2 月 ・ 燃料電池関連製品の開発支援 1 件

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	1	「元気産業創出」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	2	成長分野を支えるプラットフォームの充実	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	9	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>本県産業の発展に向け、中小企業の技術力の一層の向上や将来の地域産業を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>また、産学官連携の推進やICTの利活用などを通じ、県内産業の活性化に取り組みます。</p>					
平成 26 年度 の 主 な 取 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 産学官連携による研究交流の促進		P. 8	産業労働部	
	○ 中小企業への金融支援		P. 8	産業労働部	
	○ 地域産業の担い手育成		P. 9	教育委員会	
	○ 産業技術短期大学の機能充実		P. 9	産業労働部	
	○ 地域産業リーダーの育成支援		P.10	産業労働部	
	○ ICTの利活用の推進		P.10	企画県民部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			101,830 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			50,197 百万円	
	前年度までの事業費			40,700 百万円	
	本年度の事業費			9,497 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	産学官連携等の支援件数及び産学官共同研究実施件数（累計）	139 件 (H22)	270 件 (H26)	249 件 (H26)	84.0
	インターンシップに参加した県立高校生の参加割合	39.7% (H22)	45.0% (H26)	56.0% (H26)	307.5

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 産学官連携による研究交流の促進 【産業集積課】	商工総務費 (1,000) 998 工業試験費 (124,934) 117,775	産学官連携をより一層進め、中小企業の技術向上を図るため、工業技術センター等の試験研究機関と山梨大学と合同の研究発表会を開催することを通じて、技術シーズの情報提供を行い、県内中小企業との連携を支援した。 これにより、産学官共同研究の推進に寄与し、技術の向上や産業の活性化を促進した。 ・山梨大学との合同研究発表会の開催 平成 26 年 9 月 ・合同研究発表会における成果の発表 77 件 ・産学官共同研究の実施 22 件
2 中小企業への金融支援 【商業振興金融課】	資金貸付金 (商工業振興) (資金特別会計) (8,051,194) 3,158,936 小規模企業者等設備 導入資金貸付金 (中小企業近代化) (資金特別会計) (800,000) 491,226 県単独中小企業設備 貸与資金貸付金 (中小企業近代化) (資金特別会計) (275,000) 149,361	中小企業の経営の安定化を図るため、金融機関と連携し、不況業種対策や新分野への進出支援など事業活動に必要な資金の貸付けや設備貸与を推進した。 これにより、売上高または受注量が減少している中小企業の資金繰りの安定化に寄与した。また、資金調達力の弱い中小企業の設備投資を促進した。 ・商工業振興資金の新規貸付け 融資件数 933 件 融 資 額 7,994,326 千円 ・設備資金の貸付け、設備の貸与 貸付け等件数 136 件 貸付け等実績額 1,138,712 千円

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
3 地域産業の担 い手育成 【高校教育課】	教育指導費 (4,300) 3,995	<p>地域産業の担い手を育成し、県内企業への就職率の向上を図るため、産学官が連携し、企業現場実習、企業技術者の実践的授業、教員の企業研修、企業との共同研究などを推進した。</p> <p>これにより、地域産業の担い手育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業を担う人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> 企業現場実習の参加生徒数 延べ 890 人 企業技術者の実践的授業の参加生徒数 延べ 869 人 教員の企業研修参加者数 延べ 149 人 技能検定合格者数 延べ 341 人 ・地元企業と連携した商品開発・販売活動 <ul style="list-style-type: none"> 峡南高校における「西嶋和紙」を活用したオリジナル和紙等の開発、販売 増穂商業高校における「ゆず」「ラ・フランス」を使った商品開発、販売
4 キャリア教育 の推進 【高校教育課】	教育指導費 (119) 101	<p>望ましい職業観・勤労観を育むとともに、主体的に進路を選択する能力や態度を育成するため、就業体験等を推進した。</p> <p>これにより、キャリア教育の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業体験の実施 <ul style="list-style-type: none"> 県立高校インターンシップ実施校 26 校
5 産業技術短期 大学校の機能 充実 【産業人材課】	産業技術短期 大学校費 (237,035) 216,247	<p>専門訓練等の実施により、高度な技術や技能、専門的な知識を併せ持った優れた人材を育成した。</p> <p>これにより、若年技術者の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高卒者等に対する専門訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> 4 学科 1 年生 94 人、2 年生 102 人 計 196 人 修了者 102 人
6 産学官労の連携 による人材育成 戦略の推進 【産業人材課】	職業能力開発振興費 (3,374) 3,374 商工総務費 (176) 116	<p>技術系人材の確保・育成を図るため、産学官の幅広い関係者の参画を得て、人材育成戦略を推進した。</p> <p>これにより、産学官の連携の強化や産業界のニーズに即した技術系人材の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携人材確保・育成推進会議の開催 2 回 ・「匠の技・伝承塾」による若手技能者等の育成 <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 15 回 修了者 13 人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 地域産業リーダーの育成支援 【産業人材課】	商工総務費 (2,500) 2,110	<p>将来の県産業界を担う人材の育成を図るため、山梨大学工学部に設置された「地域産業リーダー養成特別枠」の学生に対し大学が行う特別講習や特別インターンシップの実施を支援した。</p> <p>これにより、特別教育プログラムが実施され、県内の産業界を担って活躍しようという意欲と実力を備えた優秀な人材の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業リーダー養成教育プログラムによる人材育成の実施 コミュニケーション・プレゼンテーション演習、県内企業経営者等による演習、県外研修等の実施 対象者 14 人 ・特別インターンシップ、企業訪問の実施 特別インターンシップ 5 社 企業訪問延べ 33 社
8 ICTの利活用の推進 【情報政策課】	情報管理費 (740) 612	<p>ICTの可能性や活用方法に関する県民の理解を深めるため、山梨県地域ICT推進協議会と協力して講演会、セミナー、テクノICTメッセなどを開催した。また、防災などの分野におけるICTを活用した新たなサービスについての検討を行った。</p> <p>これにより、県民の暮らしに直結した分野でのICTの利活用の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会・セミナーの開催 開催回数 4 回、延べ参加人数 413 人 ・テクノICTメッセの開催 平成 26 年 11 月、参加人数 10,111 人
9 情報通信産業の誘致と振興 【情報産業振興室】	情報管理費 (30,022) 18,986	<p>事務所の設置や情報通信機器の整備を支援するとともに、ICT人材の就職先確保や育成のための取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、情報通信産業の誘致と振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信関連企業立地への支援 4 件

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	1	「元気産業創出」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	3	やまなしブランドの確立	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	9	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 ジュエリー、ワイン、織物などの特色ある地場産品や、もも、ぶどうに代表される高品質な農産物などを「やまなしブランド」として位置付け、国内外に向け情報発信し、競争力と収益性の向上を図ります。 また、中小企業が行う地域の優れた資源を活用した新たなブランドづくりや、国内外への販路開拓を支援します。</p>					
平成26年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ やまなしブランドチャレンジへの支援		P.12	産業労働部	
	○ ワインやまなしブランドの確立		P.12	産業労働部	
	○ ジュエリーやまなしブランドの確立		P.12	産業労働部	
	○ 織物やまなしブランドの確立		P.13	産業労働部	
	○ やまなしブランドツーリズムの推進		P.13	観光部	
	○ イメージアップキャンペーンの推進		P.14	観光部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			740百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			722百万円	
	前年度までの事業費			586百万円	
	本年度の事業費			136百万円	
数値目標の達成状況	数値目標の名称	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	フィルム・コミッションの取扱件数	142件 (H22)	200件 (H26)	162件 (H26)	34.5
	地場産品のブランド確立に向けた取り組み支援件数（累計）	45件 (H22)	125件 (H26)	124件 (H26)	98.8

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 やまなしブランドチャレンジへの支援 【地域産業振興課】	商工総務費 (12,000) 9,370	<p>地場中小企業者等が新たなやまなしブランドづくりに積極的に挑戦できるよう、これらの企業が行う国内外における産地ブランドの形成や販路の開拓、海外への展開などの取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、地場中小企業者等が新たなやまなしブランドづくりに挑戦する取り組みを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地ブランドの形成、販路開拓、海外展開への支援 11件
2 ワインやまなしブランドの確立 【地域産業振興課】	商工総務費 (5,300) 4,361	<p>ワイン産地山梨のブランドイメージのさらなる向上と販路拡大を促進するため、国内外での販路開拓事業等を支援した。</p> <p>これにより、EU輸出プロモーションでは、英国ロンドンで試飲会を開催するなど、多くのワイン関係者が参加し、ワインやまなしブランドの確立に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英国ロンドンでの甲州ワインプロモーション 平成27年2月 スウェーデンでの甲州ワインプロモーション 平成27年2月
3 ジュエリーやまなしブランドの確立 【地域産業振興課】	商工総務費 (3,320) 3,320	<p>ブランドイメージの向上と販路拡大のため、産地の歴史や技術、産地ブランド Koo-fuに関する情報発信や、消費者を直接対象とした販売などの活動を支援した。また、山梨ジュエリーミュージアムにおいて山梨のジュエリーを展示するとともに地元の職人による実演やジュエリー制作体験等を実施した。</p> <p>これにより、ジュエリー産地やまなしを県内外へ情報発信することができ、認知度の向上や新たな販路開拓などに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジュエリー産地の情報発信への支援 「輝きの祭典」平成26年4月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 織物やまなし ブランドの確立 【地域産業振興課】	商工総務費 (2,650) 2,650	<p>織物産地の活性化のため、産地ブランド確立に向けた販路拡大などの取り組みを支援した。</p> <p>これにより、織物産地やまなしの認知度向上や新たな販路開拓などに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内展示会出展、新製品開発、販路拡大等への支援 「ハタオリトラベル」販売イベント エキュート立川 平成27年1月～2月 他1件 「ルームス展」 平成26年9月 「インテリアライフスタイルリビング展」 平成26年11月
5 世界に通用する ワイン産地の確立 【果樹食品流通課】	果樹園芸等振興費 (6,735) 6,169	<p>世界に通用するワイン産地としての地位を確立するため、県産ワインの高品質化と産地育成に向けた取り組みを推進した。</p> <p>これにより、本県に適した醸造用ぶどうの栽培技術を実証する試験研究が本格化するとともに、安定した原料生産につながる契約栽培が拡大するなど、ワイン産地の確立に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 醸造用原料ぶどうの栽培方法等の試験の実施 果樹試験場明野ほ場における台木・剪定方法等の研究 栽培エキスパートによる指導 フランスでの研修成果を基にした醸造用ぶどう栽培技術指導 研修会等延べ10回 対象人数延べ約300人 醸造用甲州種の契約栽培による新植支援 新規契約栽培農家5戸 1.1ha
6 やまなしブランド ツーリズムの推進 【観光企画・ブランド推進課】	—————	<p>山梨の認知度やブランドイメージの向上に寄与してきたワイン、果樹、ジュエリー等の地域ブランド産業を核として、ワイナリーやジュエリー事業者と旅行会社や宿泊事業者等によるネットワークの形成を図り、情報発信力強化やツーリズムの視点を加味した新たな旅行商品の開発を支援した。</p> <p>これにより、周辺産業と一体となった付加価値の高いツーリズムを促進した。</p>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 イメージアップ キャンペーンの 推進 【観光企画・ブランド推進課】	広 報 費 (50,000) 49,990 企 画 総 務 費 (7,815) 7,673	<p>山梨のイメージアップにつなげるため、県産品や観光資源などを、ターゲットを絞り都市生活者のニーズに合わせて発信することで、やまなしブランドの向上や、地域資源のブランド化を図った。</p> <p>これにより、複数のメディアで「やまなし」に関する情報が取り上げられた。また、「やまなし」情報を自ら積極的に発信してくれるやまなし大使が増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なメディアを通じた情報発信 広告費換算額 156 億円 ・やまなし大使の委嘱（累計） 917 人（平成 27 年 3 月末現在） ・「笑顔の理由はやまなしでした」キャンペーンイベント 平成 26 年 7 月
8 映像産業招致 の推進 【観光企画・ブランド推進課】	観 光 総 務 費 (20,682) 20,255	<p>映像を通じて本県の魅力を広く発信し、本県のイメージアップと誘客を図るため、フィルムコミッションにより、映画やテレビ番組などの撮影の誘致・支援を行った。</p> <p>これにより、NHK 連続テレビ小説「花子とアン」の他、ドラマや映画を誘致し、本県を広く PR した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画、ドラマ、テレビ番組等の撮影の誘致・支援件数 162 件 ・ロケ地データベース情報の登録（累計） 344 件 ・山梨県フィルム・コミッション連絡協議会の運営 （県下全市町村が参加）
9 やまなしブラン ド協力店の 導入 【観光企画・ブランド推進課】	———	<p>甲州ワインなどが飲める飲食店等を、やまなしブランドの情報発信拠点の一つとして位置付け、情報提供を行った。</p> <p>これにより、ワインなどのやまなしブランド確立に不可欠な「やまなし」に接する場所の増加を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「甲州ワインの飲める店」リストの拡充 320 店

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	1	「元気産業創出」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	4	地域経済の活性化と雇用の安定	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	8	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 地域経済の活性化に向け、中小企業の総合的なデザイン力の向上や伝統産業の技術の伝承を推進するとともに、ものづくり産業の海外展開に向けた取り組みを支援します。 また、山梨が誇る技術の継承と新卒者をはじめとした雇用の安定を目指し、人材の育成や就業機会の確保に取り組めます。</p>					
平成 26 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 海外でのブランド構築、販路開拓への支援		P.16	産業労働部	
	○ 中小企業の総合的なデザイン力強化への支援		P.16	産業労働部	
	○ ものづくり産業の海外展開の支援		P.16	産業労働部	
	○ 雇用を守るプロジェクトの推進		P.17	産業労働部	
	○ 新卒者の就職支援		P.18	産業労働部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			8,480 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			13,269 百万円	
	前年度までの事業費			12,140 百万円	
	本年度の事業費			1,129 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	海外への販路拡大等を目指す中小企業者に対する支援件数（行動計画期間中の累計）	—	80 件 (H26)	68 件 (H26)	85.0
	県立職業能力開発施設内で行う離職者訓練終了3ヶ月後の就職率	61.2% (H22)	80.0% (H26)	68.7% (H26)	39.9

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 海外でのブランド構築、販路開拓への支援 【地域産業振興課】	商工総務費 (7,628) 4,638	<p>地場中小企業の海外でのブランド構築、販路開拓を支援するため、海外市場での事業展開に向けたワークショップを開催するとともに、海外におけるプロモーション活動を支援した。</p> <p>これにより、販路拡大と企業のプロモーション能力の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外進出可能性分析ワークショップの実施 平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月 ・海外プロモーション活動支援 5 件
2 中小企業の総合的なデザイン力強化への支援 【地域産業振興課】	商工総務費 (3,001) 2,500	<p>本県地場産業の国内外での市場獲得を図るため、商品企画力から販売力まで含めた総合的なデザイン力の強化に向けた各種取り組みを支援した。</p> <p>これにより、下請けからの脱却を目指す企業のデザイン力の向上や販売力の強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産品プロデュース事業の実施 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月 ・「やまなしものづくりデザイン塾」の開催 平成 26 年 8 月～平成 26 年 12 月
3 ものづくり産業の海外展開の支援 【成長産業創造課】	商工総務費 (14,782) 12,456	<p>国内需要の縮小等、本県中小企業を取り巻く環境が大きく変化する中、ものづくり産業の海外への販路開拓・拡大を図るため、意欲的な中小企業の取り組みを支援した。</p> <p>これにより、販路開拓、拡大に繋がる具体的な進展が進むとともに、今後の事業展開に向け、海外の公的機関等との協力関係の構築が進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ王国への経済交流団の派遣 平成 26 年 8 月 9 社 22 人 ・タイ王国経済交流団の受け入れ 平成 26 年 11 月 4 人 ・工業製品等の海外展示会への出展に対する助成 13 社 ・海外ビジネスサポートデスクの設置 タイ、中国

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 建設産業の活性化への支援 【建設業対策室】	建設業指導監督費 (54,601) 21,357 [19,500]	<p>かつてない厳しい経営環境にある県内建設産業の活性化を図るため、新分野への進出や経営改善を目指す意欲ある建設業者の取り組みを支援した。</p> <p>これにより、自助努力を行う建設業者の経営改善等が図られ、建設産業の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設業相談窓口の常時開設 272 件 建設業新分野進出への支援 9 件 建設経営コンサルタントの派遣による経営改善等の支援 3 件
5 伝統産業人材育成の支援 【地域産業振興課】	商工振興費 (4,020) 2,850	<p>伝統産業の担い手となる人材の育成に向けて、国指定の伝統的工芸品と本県郷土伝統工芸品について、子どもや若者を対象とした伝統産業への理解を促す活動及び後継者育成のための取り組みを支援した。</p> <p>これにより、伝統工芸の認知向上、次世代育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的工芸品産地組合への支援 1 件
6 雇用を守るプロジェクトの推進 【労政雇用課】	雇用対策費 (971,256) 852,809	<p>やまなし・しごと・プラザにおいて、就職情報の提供やキャリアカウンセリングなど、きめ細かな就業支援を行うとともに、短期的な雇用・就業機会の確保、就業者の処遇改善を図った。</p> <p>これにより、若年者や中高年齢者、子育て中の母親等の就労につながり、生活の安定に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> やまなし・しごと・プラザによる就業支援 カウンセリング、就労相談等延べ件数 2,799 件 中高年齢者再就職面接会の開催 2 回 緊急雇用創出事業の実施 雇用創出人数(県、市町村) 384 人
7 多様な職業訓練の実施 【産業人材課】	職業能力開発校費 (232,406) 197,963	<p>就業機会の確保を図るため、離転職者等を対象に、企業における実習を組み込んだ訓練など、多様な職業訓練を実施した。</p> <p>これにより、離転職者の再就職等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立職業能力開発校等における離転職者訓練の実施 訓練受講者 639 人 うち就職 249 人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 新卒者の就職 支援 【労政雇用課】	雇用対策費 (27,114) 25,547	<p>就職面接会の開催やカウンセリングの実施、就職情報の提供などを実施した。</p> <p>これにより、厳しい雇用情勢にある若年者の就業の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同就職面接会の開催 5回 ・U・Iターン就職フェアの開催 1回 ・ジョブカフェやまなし等による就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ジョブカフェやまなしでのカウンセリング延べ件数 1,985件 ジョブカフェサテライトでのカウンセリング延べ件数 1,357件

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	1	「元気産業創出」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	5	未来の農業を担う担い手の確保と高収益農業の実現	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	19	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 本県では、技術力の高い農業者の手により、果実を中心とした高品質な農産物の生産が行われています。 こうした本県農業のより一層の振興を図るため、企業の農業参入を含めた多様な担い手の確保・育成に取り組むとともに、県オリジナル品種や付加価値の高い加工品の開発、販路の拡大・開拓に向けた支援を行い、高収益農業の実現を目指します。</p>					
平成 26 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担 当 部 局	
	○ 山梨県オリジナル品種の普及促進		P. 20	農 政 部	
	○ 県産農産物のブランド化と販売対策の強化		P. 21	農 政 部	
	○ 農産物の新たな販路の開拓		P. 22	農 政 部	
	○ 農産物販売戦略の強化		P. 22	農 政 部	
	○ 農産物輸出戦略の展開		P. 23	農 政 部	
	○ 山梨の新農産加工品の開発推進		P. 24	農 政 部	
	○ 甲斐の銘酒づくりの促進		P. 25	農 政 部	
	○ 未来を支える多様な担い手づくりの推進		P. 25	農 政 部	
	○ 企業の農業参入の促進		P. 26	農 政 部	
○ 名水を活用した内水面漁業の振興		P. 26	農 政 部		
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			16,390 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			21,168 百万円	
	前年度までの事業費			16,675 百万円	
	本年度の事業費			4,493 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	県産果実の輸出額	253 百万円 (H22)	500 百万円 (H26)	514 百万円 (H26)	105.7
	新規就農者数	185 人 (H22)	250 人 (H26)	274 人 (H26)	136.9
	農産物直売所の販売額	4,852 百万円 (H22)	6,500 百万円 (H26)	5,503 百万円 (H26)	39.5

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 やまなし農業 ルネサンス大 綱の改定 【農政総務課】	———	<p>未来につながるはつらつとした山梨農業の実現に向け、重点的に取り組む施策をスピーディーに実行していくため、平成23年度に改定した「やまなし農業ルネサンス大綱」の各種施策の進行管理を行った。</p> <p>これにより、本県農業の発展の芽を育てる施策を着実に推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし農業ルネサンス大綱推進会議の開催 4回
2 山梨県オリジ ナル品種の普 及促進 【果樹食品流通課】 【畜産課】 【農業技術課】	果樹園芸等振興費 (670) 670 農業改良普及費 (589) 565 畜産振興費 (30,915) 29,687	<p>オリジナル品種の早期産地化とブランド化を図るため、県試験研究機関においてオリジナル品種の開発を進めるとともに、民間等が実施する苗木の増殖確保や消費宣伝活動等を支援した。</p> <p>これにより、オリジナル品種の生産量が2,241t、前年度と比較して138%となるなど、県オリジナル品種の普及と販路拡大に寄与した。また、平成24年度に完成した新系統豚「フジザクラDB」を活用した「甲州富士桜ポーク」については、平成26年6月から本格流通が開始された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹試験場が作出したオリジナル品種の出願及び登録公表 1品種 おうとう「甲斐オウ果6」(3月出願公表) ・酪農試験場が開発した新品種の出願及び登録 牧草「ヤツマサリ」出願中 ・果樹オリジナル品種の苗木生産、PR活動等への支援 苗木の増殖供給 3,155本 PR用資材の作成配布、試食宣伝活動の実施 ・新銘柄豚の完成と普及 新系統豚「フジザクラDB」の供給 18頭

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
3 オリジナル花 きの開発と産 地化支援 【花き農水産課】	果樹園芸等振興費 (8,945) 8,011	<p>特色ある花きの産地化を推進するため、県育成品種であるミニコショウランの販売促進やピラミッドアジサイの生産拡大に取り組むとともに、早期産地化を図るために、種苗の増殖や供給等の取り組みを支援した。</p> <p>これにより、ミニコショウランのブランド化につながるとともに、ピラミッドアジサイ等の産地化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニコショウランオリジナル品種のプロモーション 展示販売モデル店設置 横浜市 平成 26 年 7 月 ・市場商談会出展による販路開拓支援 東京（フラワーオークションジャパン） 愛知（豊明花き） 計 20 ブース ・オリジナル花きの優良種苗の供給 ミニコショウラン、ピラミッドアジサイ、クランベリー
4 県産農産物のブ ランド化と販売 対策の強化 【農産物販売戦略室】 【畜産課】	農業総務費 (18,602) 17,865	<p>本県独自のオリジナル品種等のブランド認知度向上と販売力の強化を図るため、関係団体と連携し、多様な需要者の動向を捉えた、県産農産物の情報発信の強化や販売促進活動などを展開するとともに、優れた黒毛和種受精卵を供給した。</p> <p>これにより、県産農産物の魅力や特徴を周知することができた。また、高品質牛肉である甲州牛の増産に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップセールスによる情報発信と販売促進支援 3 回 大田市場、都内百貨店 平成 26 年 8 月、9 月 京都市中央卸売市場、京都駅前 平成 26 年 7 月 甲府市地方卸売市場 平成 26 年 12 月 ・多様な需用者のニーズ等の調査の実施 大田市場の取引状況や小売実態等の調査 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月 ・甲州牛の増産によるブランド力の強化 黒毛和種の受精卵の採取・凍結及び供給 165 個
5 農業生産基盤 の整備推進 【耕地課】	土地改良費 (4,419,291) 3,841,817 [549,656]	<p>果樹栽培をはじめとする本県農業を発展させるため、農作物の栽培や出荷を効率化する基盤整備を推進した。</p> <p>これにより、畑地帯の総合的な整備で 19 地区、基幹農道で 8 地区の整備を行うなど、産地基盤の強化、農産物の輸送の合理化や沿線農地の利便性向上が図られ、効率的な農業経営に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑地帯の総合的な整備 山地区 外 18 地区 ・基幹農道の整備 茅ヶ岳東部地区 外 7 地区

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 果樹農家の経営規模拡大への支援 【農村振興課】 【果樹食品流通課】	農地調整費 (50,707) 47,993 果樹園芸等振興費 (2,222) 1,458	意欲ある果樹農家の経営規模拡大を図るため、樹園地等を借り受けて省力技術等を導入しながら行う改植に対して支援した。 これにより、果樹農家の経営規模拡大が促進された。 ・規模拡大に取り組む農家への支援 35戸 ・農地中間管理事業による樹園地の転貸 29 ha
7 農産物の新たな販路の開拓 【農産物販売戦略室】 【畜産課】 【農業技術課】	農業改良普及費 (3,300) 2,798 畜産振興費 (1,670) 1,670	県産農産物の知名度向上と新たな販路開拓を図るため、産地と多様な需要者とのマッチングを支援した。 また、農産加工品についても販路拡大を支援した。 これにより、県産農産物の知名度向上と新たな販路開拓に寄与した。 ・販路開拓への支援 実需者へのマッチング支援 22件 首都圏での農産加工品販売コーナー設置支援 2店舗 八王子市、横浜市 農産加工品のインターネット販売サイトの開設支援 ・全国規模の商談会等への出展支援 2回 アグリフードEXPOなど ・県産畜産物フェア等による情報発信への支援 「山梨ちくさんフードフェア」、 「2014 フェスタまきば」 開催支援 平成26年10月 「甲州統一ブランド食肉の夕べ」の開催 平成27年1月 ・県内外の各種イベント等での販売・PR支援 9回
8 農産物販売戦略の強化 【農産物販売戦略室】	農業総務費 (283) 174	県産農産物のブランド力強化と販路の拡大を図るため、新たに「うんといい山梨さんプロジェクト」推進委員会を設置し、総合的な販売戦略を推進した。 これにより、「富士の国やまなしの逸品農産物認証制度」の拡充を図り、高品質な県産農畜産物のブランド強化に寄与した。 ・推進委員会の提案による販売戦略の推進 委員会開催 2回 ・農産物認証制度の拡充 認証団体の追加 3団体(計115団体)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>9 農産物輸出戦略の展開</p> <p>【農産物販売戦略室】</p>	<p>果樹園芸等振興費 (3,632) 2,777</p>	<p>果実を中心とした県産農産物の輸出拡大を図るため、海外でのやまなしブランドの定着に向けた取り組みを推進した。</p> <p>これにより、輸出額は、前年比約 1.4 倍の 514 百万円に増加し、県産果実の輸出促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外トップセールスの実施 タイ 平成 26 年 8 月 ・海外での販売量拡大への支援 富士の国やまなしフルーツショップの設置 台湾、香港 平成 26 年 8 月、10 月 ・海外での販売促進への支援 富士の国やまなしフルーツフェアの開催 シンガポール、タイ 平成 26 年 7 月～ 8 月 県産果実プレゼンテーションの実施 台湾 平成 26 年 12 月
<p>10 輸出向け生産選果体制の確立</p> <p>【果樹食品流通課】</p>	<p>——</p>	<p>果実の輸出促進を図るため、台湾向けももについて、害虫防除指導や選果精度を高める取り組みを継続して推進した。</p> <p>これにより、台湾向けももの選果輸出実績は前年に比べ約 38 % 増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾向け選果に係わる研修会の開催 3 回 (3 月、6 月、7 月) ・選果こん包施設巡回指導 11 回 (11 施設 5～8 月) ・モモシンクイガの発生予察調査 39 地点 (4～9 月) ・モモシンクイガの発生予察、防除基準に基づく防除の徹底指導 (4～8 月)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
11 直売所の販売力の強化への支援 【農村振興課】 【果樹食品流通課】	農業総務費 (32,497) 32,443	<p>農産物直売所の販売力を強化するため、専門家によるセミナーの開催や農産物の安定供給を推進するとともに、機能強化に向けた取り組みを支援した。</p> <p>これにより、小規模直売施設等が整備され、直売所における農産物の販売額が約55億円と、前年度と比較して3.3%増加するなど、直売所の販売力強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直売所セミナー等による販売力強化への支援 魅力アップ支援講座の開催 1回 ・品目の増加、通年生産等の推進 手引き等を活用した農務事務所による指導の実施 ・直売所の機能強化への支援 直売施設の整備支援 1件
12 山梨の新農産加工品の開発推進 【農業技術課】	農業改良普及費 (3,700) 3,552	<p>県産農産物を用いた付加価値の高い加工品を開発し、高収益農業の実現を図るため、「美味しい甲斐開発プロジェクト」において、専門家の指導を受けて行う農産物加工や商品化を支援した。</p> <p>これにより、県産農産物を用いた新たな名産品づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美味しい甲斐開発プロジェクトチームによる検討会の開催 4回 ・加工品の開発支援 10事業者 甲州八珍果ラスク、ラズベリーの加工品(ビネガーなど)、果実入り富士山型ゼリー、セミドライフルーツの洋菓子、とうもろこしプリン、ウメのフレーバーティー(紅茶)、モロコの甘露煮、キヌアのノンフライスナック、ビオラの焼き菓子、川魚のコンフィ

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
13 水田フル活用 の推進 【花き農水産課】	主要農作物 生産対策費 (78,732) 74,527	<p>主食用米の生産調整に取り組むとともに、水田農業の低コスト化や法人育成に取り組み、麦、大豆、米粉用米、飼料用米等の戦略作物による水田フル活用を推進した。</p> <p>これにより、主食用米の生産調整目標を達成するとともに、地域の組織・法人等による水田活用促進と農業経営の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主食用米生産数量目標の達成 4,992 ha ・水田を中心とした法人の育成 3 法人 (累計 20 法人) ・水田農業の低コスト化支援 疎植栽培の普及・定着 35 ha
14 甲斐の銘酒づ くりの促進 【花き農水産課】	—————	<p>本県の銘酒づくりを促進するため、県内の日本酒メーカーと連携して、酒造りに適した米の生産拡大と安定取引を支援した。</p> <p>これにより、6つの日本酒メーカーと生産者との連携が深まり、今後の生産拡大につながるるとともに、県産米で造られた日本酒のPRも図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲斐の銘酒づくり推進協議会の活動支援 6 推進協議会 ・酒造好適米の生産拡大支援 栽培面積 40 ha ・消費者との交流活動実施支援 延べ6回
15 未来を支える 多様な担い手 づくりの推進 【担い手対策室】	農業改良普及費 (38,307) 35,201	<p>本県農業の維持・発展を図るため、農業に関心を持つ若者など幅広い人材を確保するとともに、企業の農業参入を促進するなど、多様な担い手づくりを推進した。</p> <p>これにより、274人が新規に就農するなど、多様な担い手づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外での就農相談会の開催 13回 (県内5回、県外8回) ・就農定着支援研修の実施 研修生 19人 ・ニューファーマー応援チームによる支援 個別相談・就農相談会の実施

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
16 農業協力隊員の就農促進 【担い手対策室】	農業総務費 (13,737) 13,640	<p>多様な担い手を確保するため、農業協力隊員として農業生産活動や地域活動を行う都市住民等について、本県での就農や農業法人への就業を支援した。</p> <p>これにより、平成26年度の修了者4人全員が県内に就農した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農定着に向けた隊員への活動支援 4人
17 企業の農業参入の促進 【担い手対策室】	農業改良普及費 (721) 683	<p>企業の農業参入を促進するため、企業訪問、セミナー、個別相談を通じて、参入時に必要な情報等を提供するとともに、生産技術の習得、資金利用等を支援した。</p> <p>これにより、県内外の企業10社が農業参入し、農地の有効利用や雇用の創出に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問、参入相談の実施 県内外の企業 48社 ・経営安定に向けた参入企業への支援 農地確保、資金利用、補助事業の紹介等を支援 21社
18 企業が参入するための農地整備等の促進 【農村振興課】	土地改良費 (44,350) 44,350	<p>農業参入を予定する企業との個別相談活動を通じ、企業の意向に沿った農地のあっ旋、整備等の取り組みを支援した。</p> <p>これにより、農業参入を希望する6法人(企業)の基盤整備を実施し、円滑な参入に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の意向に沿った基盤整備 ほ場整備、用排水路整備
19 名水を活用した内水面漁業の振興 【花き農水産課】	水産業振興費 (22,100) 2,438 [19,600]	<p>豊富な湧水等を活用した内水面漁業の振興を図るため、クニマスの特性把握や増養殖技術の開発などを推進するとともに、クニマス展示施設の整備に向け基本設計を行った。</p> <p>これにより、西湖におけるクニマスの食性や資源量を明らかにするとともに、内水面漁業の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クニマスの資源生態調査 平成26年4月～平成27年3月 ・クニマスの飼育成熟特性の把握 平成26年4月～平成27年3月 ・クニマス展示施設の基本設計 平成26年6月～12月 ・クニマス展示施設の実施設計 平成27年2月～ (平成27年度に明許繰越)

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	1	「元気産業創出」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	6	中心市街地の活性化と商業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	3	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 にぎわいのある商店街づくりに向け、市町村や商工団体と連携しながら、商店街をリードする人材の育成や特色ある商店街づくりに取り組むとともに、暮らしやすいまちづくりを推進するため、大規模集客施設の適正立地を図ります。</p>					
平成 26 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 商店街活力再生への支援		P.28	産業労働部	
○ 中心市街地活性化の促進		P.28	産業労働部		
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			180 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			120 百万円	
	前年度までの事業費			105 百万円	
	本年度の事業費			15 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	中心市街地における歩行者通行量	167,392 人 (H22)	172,000 人 (H26)	147,364 人 (H26)	△ 434.6

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 商店街活力再生への支援 【商業振興金融課】	商工振興費 (12,752) 5,074	<p>商店街の活力を再生させるため、市町村や商工会等が行う商業活性化のためのイベント開催や空き店舗の活用などを支援するとともに、セミナーの開催により、地域に根ざした魅力ある商店街づくりを進める人材の育成を推進した。</p> <p>これにより、意欲ある市町村や商工会等の取り組みへの支援が図られ、商店街の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化イベント開催等の活性化支援事業 5件 ・街路灯のLED化等による施設整備事業 3件 ・空き店舗への出店促進のための創業支援事業及び空き地空き店舗利用促進事業 5件(13店舗) ・魅力ある商店街づくりを進める人材を育成するためのセミナーの開催 5回
2 中心市街地活性化の促進 【商業振興金融課】	———	<p>事業者、地域住民等による中心市街地の活性化を促進するために、中心市街地活性化協議会の構成員である商工会議所等が行う活性化事業を支援するとともに、甲府市中心市街地活性化基本計画の推進と第2期計画の策定に参画した。</p> <p>これにより、甲府市中心市街地における新たなにぎわいの創出に寄与した。</p>
3 大規模集客施設の適正立地 【商業振興金融課】	商工振興費 (1,021) 682	<p>集客力のある大規模集客施設等の立地は、まちづくりに影響を与える可能性が高いことから、その適正立地を図り、持続的発展が可能な暮らしやすいまちづくりを推進した。</p> <p>これにより、立地計画に関する情報が早期に公開され、地域社会での論議を踏まえた立地を可能とし、大型店と地域との連携等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模集客施設等立地計画の提出 2件